

7

JUL/2019/Vol.172

○サツマイモ 苗植え体験 / 東峰学園2-3年生
(指導協力: 西福井地区農家岩田謙三さん他 保護者の皆さん)

広報 東峰 TOHO

URL : <http://vill.toho-info.com>

目次

- 2p / 5p ○ ○ ○ 特集 九州北部豪雨災害レポート
- 6p / 8p ○ ○ ○ ニュース&トピックス
- 9p / 10p ○ ○ ○ 地域おこし協力隊 活動日誌
- 11p / 12p ○ ○ ○ 公民館ひろば
- 13p ○ ○ ○ ○ ○ 管理栄養士からのお知らせ
- 14p ○ ○ ○ ○ ○ 診療所だより
- 15p / 22p ○ ○ ○ 役場からのお知らせ
- 23p ○ ○ ○ ○ ○ 「日本で最も美しい村」連合ニュース
- 24p / 25p ○ ○ ○ 暮らしの情報
- 26p ○ ○ ○ ○ ○ 在宅医表
- 27p ○ ○ ○ ○ ○ 村長Navi
- 28p ○ ○ ○ ○ ○ フォトギャラリー



the most beautiful
villages in japan

東峰村
福岡県

福岡県東峰村
毎月15日発行

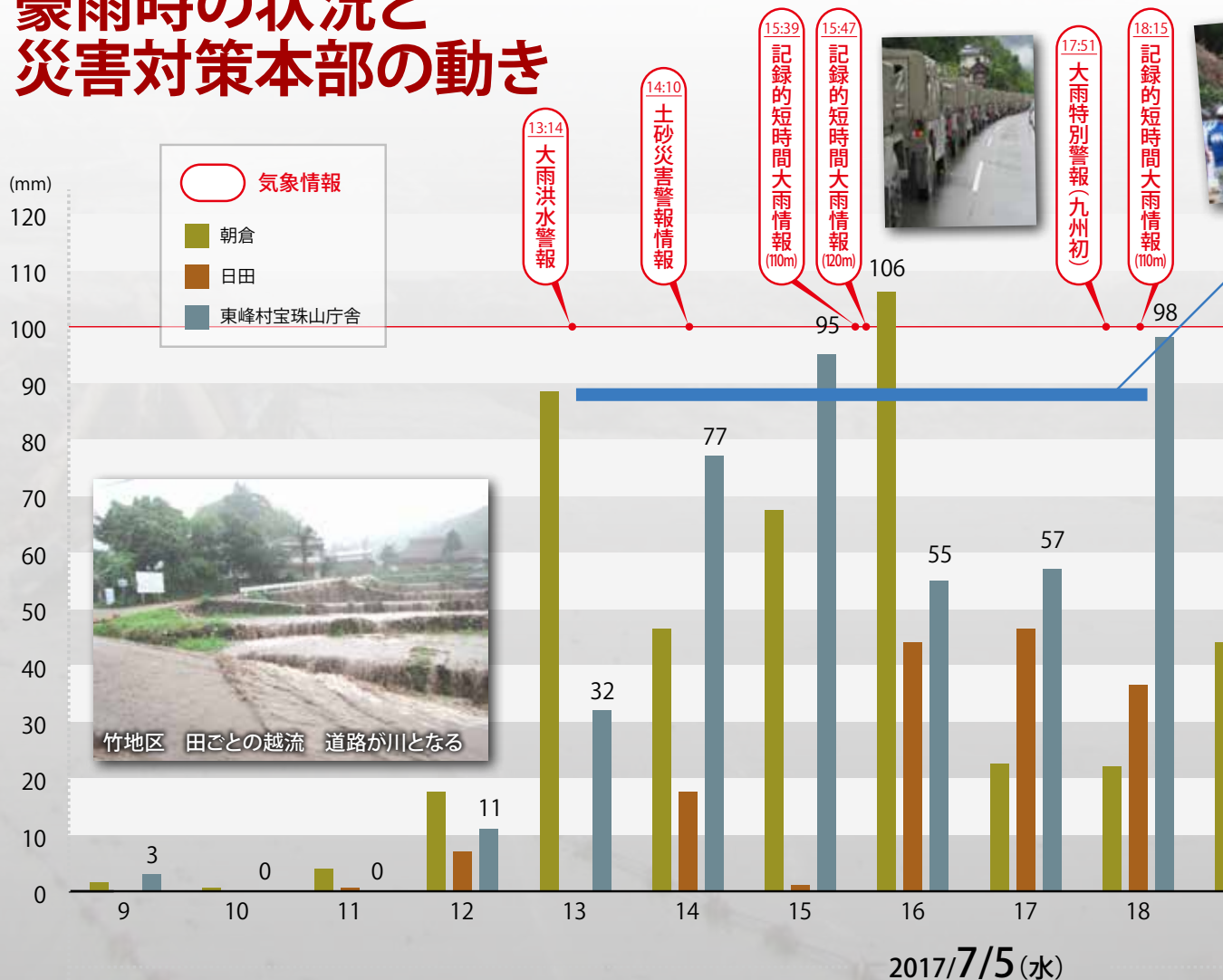
九州北部豪雨災害レポート

あの日、村で 何が起こっていたか



九州北部豪雨から2年、災害に強い地域を目指して
村は復興に向けて着実に歩んできました
その取り組みをご紹介します

豪雨時の状況と 災害対策本部の動き



東峰村の被災総額 約34億円

※H 29.12 末時点の災害査定額又は申請



死者 3名
負傷者 2名
{ 重傷 1名 }
{ 軽傷 1名 }

人的被害

全壊 26棟 半壊 37棟
一部破損 8棟
床上浸水12棟
床下浸水69棟

住家被害

河川災害 70箇所
道路災害 40箇所
橋梁災害 5箇所
計 115箇所

公共土木施設災害
被害額計 2,005,218千円

東峰村簡易水道(村管理分)
導水施設・浄水施設
送水施設・配水施設
応急復旧

水道施設災害
被害額計 184,323千円

林道施設 13路線
75箇所
延長5,433m

林道施設災害
被害額計 504,041千円

田 127箇所
畑 25箇所
水路 38箇所外
計 210箇所

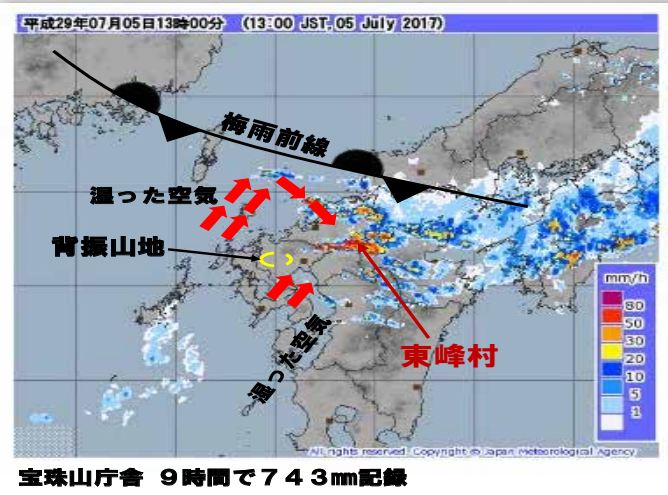
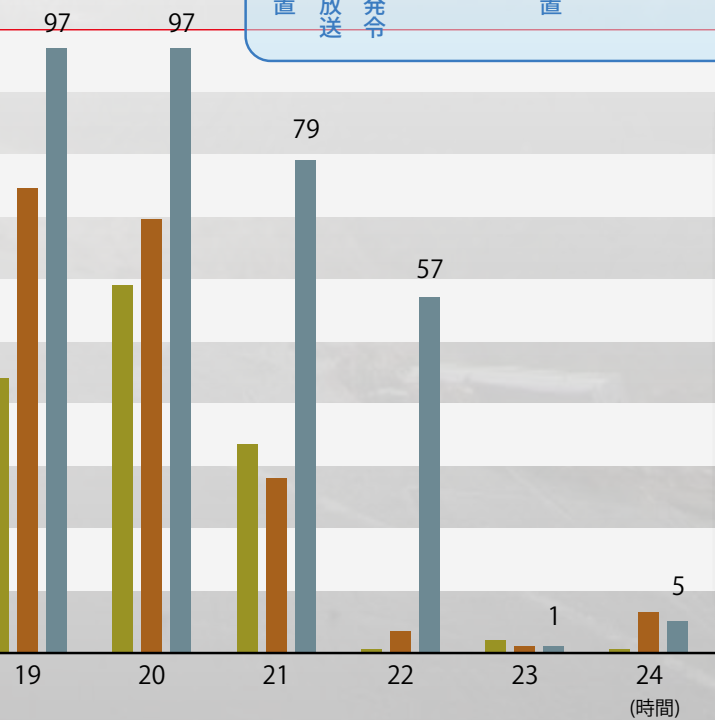
農地・農業用施設災害
被害額計 693,373千円



災害対策本部の動き

| | |
|-------|--------------|
| 13:14 | 東峰村災害警戒本部設置 |
| 13:30 | 防災無線から注意喚起放送 |
| 14:17 | 村全域に避難準備情報発令 |
| 14:20 | 避難について再度放送 |
| 15:00 | 避難準備の呼びかけ |
| 15:15 | 東峰村災害対策本部設置 |
| 15:30 | 村全域に避難勧告発令 |
| 16:00 | 避難勧告の再放送 |
| 16:15 | 自衛隊の出動要請 |
| 16:50 | 避難勧告の再放送 |
| 18:10 | 避難勧告の再放送 |

| | |
|-------|-----------------|
| 14:10 | 大雨特別警報解除 大雨警報継続 |
| 18:05 | 土砂災害特別警戒情報解除 |
| 5:51 | 大雨警報解除 |
| 9:00 | 避難勧告解除 |



7/6(木) 7/7(金) 7/8(土)

九州北部豪雨災害レポート

災害被災以降の取り組み

①避難勧告等の発令の基準見直し（早期発令）

②避難勧告等の意思決定の迅速化

- ・避難勧告等の基準の引き下げによる早めの避難行動呼びかけ
- ・行動指針となる「タイムライン」の作成
- ・情報通信技術活用事業による防災業務支援システムの導入（H30）

③防災行政無線屋外スピーカーの伝達状況改善

- ・現在の屋外スピーカーの位置や方向を現地確認し、3段階の改善を図る。
 - ①スピーカー守備範囲を現地調査・調整
 - ②到達距離が不足する箇所はスピーカーを高性能タイプに交換
 - ③改善しないエリアには屋外子局を増設

④防災行政無線屋内戸別受信機の受信状況改善

- ・戸別受信機は、聞こえないなどの連絡があれば、個別に対応。
- ・H30.11月に、消防団員の訪問により、聞こえの状況調査を聞き取りで行い、聞こえの悪いエリアの電波状況を業者により調査。再送信局（中継局）を増設予定。

⑤避難所への避難方法・避難ポリシー（指針）の整理

- ・平成30年度、復興計画推進の取り組みの一つとして、避難行動計画作成業務により、防災マップを作成。平成31年11月15日全戸配布。
- ・防災マップとタイムラインを活用した防災訓練を実施（令和元年6月23日実施済）。

⑥複数の伝達手段の確保

- ・避難情報発令の際、サイレンを20秒吹鳴するように変更。
- ・吹鳴後の放送内容の整理（避難情報をまず簡潔に伝える）
- ・避難情報発令とともに、村のケーブルテレビで同時配信を行い、聞き取りにくかった場合もテレビで情報が得られるようにした。（L字放送）
- ・村や県が公開している河川カメラ等の画像をテレビで確認（データ放送）
- ・これまで同様、エリアメール、福岡県防災メール「まもる君」での配信。
- ・被害状況などがGIS（地理情報システム）上で共有できる情報共有システムの導入（H30）

⑦通信が遮断されても、各避難所と連絡が取れる体制づくり

- ・外部との通信を確保するため衛星携帯電話を3台購入。（H29）
- ・県補助により、各避難所、公民館との連絡用の簡易型無線機を購入した。（H30.8月…3,855千円/無線機40台、アンテナ工事等）

⑧指定緊急避難場所まで遠い住民の、安全な避難場所の確保

避難については、原則、指定緊急避難場所に避難するが、地区防災マップの作成過程の中で、避難経路に災害が発生したときなど移動すること自体が危険な場合などを想定し、自主的に避難する住民の安全な一次避難場所を地域の皆さんで設定し、防災マップに掲載。

※防災マップは【「安全・安心なむらづくり」を実現するG空間地域防災システム】により個人情報を除き情報共有ができる。

⑨避難所への発電機の設置

- ・地域の一次避難場所に設定している村内23カ所にカセットガスタイプの発電機（900W）を配置した。（H29）

⑩避難したときに必要な物資等の準備

・平成27年4月「地域協働の村づくり」による補助金制度を開始。【「東峰村地域協働の村づくり基金」事業】地区公民館への中型発電機の購入/備蓄物資（毛布・マット・食料など）の購入/非常用持出し袋を購入し訓練時に活用/避難所のエアコンの設置などを、各地区が主体となって優先度に応じて、年間20万円の上限額により事業に取り組んでいる。

災害に強い地域を目指して

村はこの2年 着実に歩んできました

避難勧告等の発令の基準見直しや防災

タイムラインの作成もその一例です。

これまで行われてきた取り組みについて

②避難勧告等の意思決定の迅速化（タイムライン作成）



▲地域みんなで集まり、防災リスクコミュニケーション

マップ

ご報告します。

① 避難勧告等の発令の基準見直し（早期発令）

| 警戒レベル | 住民がとるべき行動 | 避難情報 | 情報発信源 |
|--------------------------|-------------------------------------|-----------------|-------------|
| 警戒レベル5 すでに災害が発生している状況 | 命を守るための最善の行動をとる | NEW 災害発生情報 | 村にて発令 |
| 警戒レベル4 | 全員 避難 | 避難勧告・避難指示（緊急） | |
| 警戒レベル3 | 高齢者 障がい者 乳幼児 など その支援者は避難、他の住民は準備 | 避難準備・高齢者等避難開始 | ↑ 気象庁が発表 |
| 警戒レベル2 | 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認 | 洪水注意報・大雨注意報 | |
| 警戒レベル1 | 防災気象情報などの最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める | 警戒級の可能性（早期注意情報） | |

▲本村では、避難勧告等の基準を引き下げて運用を行っています。

【「安全・安心なむらづくり」を実現するG空間地域防災システム】

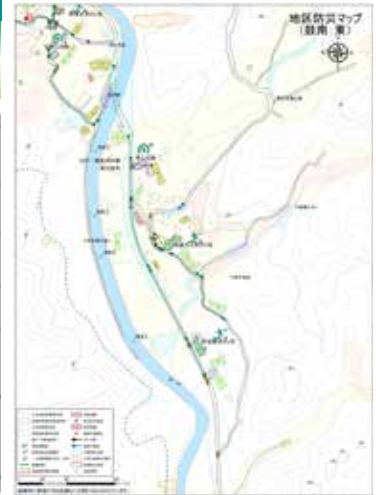
大量の気象データや、川の水位、SNSなどに投稿された画像などを瞬時に収集・分析して避難勧告などを出すタイミングを知らせるAIを活用した支援システムを九州大学の支援により開発予定。



⑤ 避難所への避難方法・避難ポリシー（指針）の整理

防災マップの作成 (まちあるき、リスクコミュニケーション)

| | |
|---------------|----------|
| 土石流特別警戒区域 | 注意道路 |
| 急傾斜地特別警戒区域 | 要注意交差点 |
| 土石流警戒区域 | 老朽家屋 |
| 急傾斜地警戒区域 | 危険な屋根瓦 |
| 地すべり警戒区域 | ブロック塀 |
| 指定避難所 | 危険な側溝 |
| 緊急指定避難場所 | 水害発生箇所 |
| 一次避難場所(洪水・土砂) | 土砂災害発生箇所 |
| 避難経路 | 崩壊発生箇所 |
| 要配慮者居住家屋 | 注記事項 |



⑥ 複数の伝達手段の確保（ケーブルテレビのデータ放送）



⑥ 複数の伝達手段の確保（ケーブルテレビのL字放送）

